

令和 8 年度（2026年度）

入学者選抜要項

○編入・転入選抜



ノースアジア大学
NORTH ASIA UNIVERSITY

目 次

建学の精神、目的及び使命、教育目的	… 2
入学者受入れの方針	… 3
＜編入・転入選抜要項＞	
編入・転入選抜要項	… 6
＜家族学費支援制度＞	
家族学費支援制度	… 9
出願手続	…10
入学手続	…12
入学年度納付金一覧	…13
試験会場案内図	…14

建学の精神

真理 調和 実学

戦後、秋田県には、私立の高等教育機関が存在しなかった。このような社会文化の土壌の中で、地域に役立つ人材の養成を目的とする高等教育機関樹立の要望が地元から湧きあがり、その結果、昭和28年に本学園が設立され、建学の精神文化の礎が積み上げられてきたのである。言い換えれば、地域の土壌に根ざし、真に愛される学園として、地域の実情に適合しながら産業・経済の発展と文化の向上に寄与してきたのである。本学園の原点は、真理を学び、これを基にした、地域ひいては世界の発展に貢献できる人材の育成にある。それは、実社会に役に立つ学問を身につけ、人として調和のとれた優れた人材の養成を志向することであり、学園の存在の意義と目標はこのような目的に向かって常に成長していくところにある。

目的及び使命

ノースアジア大学は教育基本法（昭和22年法律第25号）の精神に則り、教養教育との密接な関連のもとに科学的で実際の専門教育を施し、健全にして善良な社会人を育成することを目的とし、人類の福祉と国家の繁栄に寄与することを使命とする。

教育目的

経済学部

経済社会に対応する実践的能力に長けた職業人を育成する。

経済学科…基礎力・応用力を養い、キャリアデザイン即ち職業設計を実現する就職力・仕事力を鍛え、民間分野あるいは公的分野における多様な職業で活躍する主体性と自発性を有する人材を養成する。

総合政策学部

実社会において必要とされる幅広い知識を修得させ、法的思考力を備えた人材を養成する。

法律学科…法的知識と教養知識を兼ね備えた有為な人材を育成する。

国際学科…法的素養を身に付けた、幅広く国際社会で活躍できる有為な人材を育成する。

出願書類（成績証明書・入学志望理由書等）の活用方法について

成績証明書、入学志望理由書等の出願書類については、学習成績・資格取得・生活態度・課外活動（部活動、生徒会活動、ボランティア活動等）といった記載内容を参考にして受験生本人が『主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度』を有しているかを確認するとともに、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、選抜成績と併せて多面的・総合的な判定をするために活用します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

ノースアジア大学では学生たちが自分で考え、日頃から礼節を重んじ、常に整容を心がけ、将来の目標に向かってひたむきに努力する強く大きな志を持った方を求めています。

経済学部 経済学科	世の中の若者をめぐる社会環境は時代とともに移りかわり、社会に存在する数多くの仕事は経済学や経済現象と深くかかわるようになりました。経済学科では、入学者受入れ、教育課程、卒業を一体的にとらえ、卒業後の進路や志す学修内容、目的、テーマなどの観点から次の4つのコースを設け、それぞれのコースでの学修内容に応じた教育課程を整備しています。入学者の受入れは、次の意欲や将来への目標を持った学生の入学を希望します。
公務員 コース	公務員コース 公務員、教員やその他の公的な機関の職業に携わり、地域や日本の人々の安全や幸福に貢献したいと考える意欲。
金融 コース	金融コース 金融・販売・流通・貿易・製造・出版・運輸・ITなどさまざまな分野で活躍できる金融的センス。
経済データサイエンス コース	経済データサイエンスコース 大量かつ多様なデータを解析し、グローバルな経済社会に応用できる資質。
スポーツ 経営コース	スポーツ経営コース スポーツを心理・健康・経営学的な視点から理解して、スポーツ指導やスポーツ施設経営、マスコミ・文化・サービス・エンターテインメント・環境保全・農業などに携わろうとする志向性。 そして、何よりも夢の実現に向かってひたむきに取り組み、困難に直面してもあきらめず、意欲的に成長しようとする強い意志を持つ若者の入学を希望します。
	高校時代に特に学んでほしいこと 入学希望者は、幅広い視野と、社会、経済における知識、技能を学んでほしいと思います。また、社会を担う人材に成長するための資格取得に励み、文化、スポーツ、社会活動などを通して、思考力・判断力・表現力等を主体的に培ってほしいと思います。 これらの意欲や将来への目標を有しているかの判断は、資格取得状況、調査書、学力試験、面接等を通じて行います。

総合政策学部 法律学科	法律学科では、法的知識と教養知識を兼ね備えた有為な人材の育成を教育目標としています。この目標を実現するために学生の将来の志望に応じた4つのコース「公務員コース」、「ビジネスコース」、「法律コース」、「心理学コース」を設けるとともに、基礎的な分野の学習から徐々に高度な内容へと段階的に進むきめ細かな教育を行っています。
公 務 員 コ ー ス	このような教育目標をもとに、各コースでは次のような学生の入学を望んでいます。入学後2年次より、将来の目標に向けて、いずれかの学科に所属し、コースを選択します。コースは所属学科のコース1つを含む2つまで選択できます。 公務員コース 1. 国家や地域社会の安心と安全に関心があり、住みよい社会の創造に興味を持つ人。 2. 社会問題に関心があり、その解決に献身的に行動できる人。
ビ ジ ネ ス コ ー ス	ビジネスコース 1. グローバル社会で活躍するビジネスパーソンを志す人。 2. 企業活動に関心があり、会社経営や企業法務に関心を持つ人。
法 律 コ ー ス	法律コース 1. 専門的知識と教養的知識を身につけながら、実社会の真理を探究し活躍したい人。 2. 衡平の感覚を持ち、法律の素養を生かして人と社会の調和に貢献したいと考えている人。
心 理 学 コ ー ス	心理学コース 1. 人の心の動きや行動を実験や観察を通して科学的に分析し、社会の諸課題に対し、心理学の観点から提言したいと考えている人。 2. 複雑化する社会において、様々な悩みを抱えている人を心理学の観点から支援したいと考えている人。
	そして、何よりも夢の実現に向かってひたむきに取り組み、困難に直面してもあきらめず、意欲的に成長しようとする強い意志を持つ若者の入学を希望します。 高校時代に特に学んでほしいこと 法治国家の担い手である公務員として社会に携わりたい方は、社会問題を的確に捉える力を養うために政治経済の勉強が必要です。ビジネスパーソンとして、企業法務の知識を活用し、会社経営や企業で活躍したい方は、経済情勢・社会情勢を分析する力を養うため、日々新聞を読むこと、ニュースを見ることを習慣化してください。弁護士等の専門職を志す方は、事実や意見を分析する力が求められます。そのため高校の科目では国語、とりわけ現代文が重要です。また、法制度に関する歴史的背景や諸問題を理解するために、地歴・公民の科目を広く学び、基礎的知識を身につけることが求められます。 これらの意欲や将来への目標を有しているかの判断は、資格取得状況、調査書、学力試験、面接等を通じて行います。

総合政策学部 国際学科	国際学科では、法的素養を身に付けた、幅広く国際社会で活躍できる有為な人材の育成を教育目標としています。この目標を実現するために学生の将来の志望に応じた3つのコース「国際関係・安全保障コース」、「グローバル英語コース」、「観光コース」を設けるとともに、基礎的な分野の学習から徐々に高度な内容へと段階的に進むきめ細かな教育を行っています。
国際関係・安全保障 コ ー ス	このような教育目標をもとに、各コースでは次のような学生の入学を望んでいます。入学後2年次より、将来の目標に向けて、いずれかの学科に所属し、コースを選択します。コースは所属学科のコース1つを含む2つまで選択できます。
グローバル英語 コ ー ス	国際関係・安全保障コース 1. 国際政治や国際経済の動きに関心があり、国内外で活躍したいと考えている人。 2. 国際的な視野を持ち、国際社会と我が国の平和と安定に貢献したいと考えている人。
観 光 コ ー ス	グローバル英語コース 1. 国際的な視野を持ち、英語を駆使して国内外で活躍したいと考えている人。 2. 英語を通じた異文化交流について関心と理解を持ち、文化と価値観の違いに対して調和のとれた感覚を磨きたいと考えている人。
	観光コース 1. まちづくりや観光に関心を持ち、地域の創生やその将来に大きな夢を抱いている人。 2. フィールドワークを通して「新しい文化の創造」に取り組みたいと考えている人。 そして、何よりも夢の実現に向かってひたむきに取り組み、困難に直面してもあきらめず、意欲的に成長しようとする強い意志を持つ若者の入学を希望します。
	高校時代に特に学んでほしいこと 国際的な視野を持ち、外国語を駆使して国内外で活躍することができるようになりたい方は、グローバル社会におけるコミュニケーションの手段として外国語の基礎を培っておくこと、日本および世界の歴史や政治・経済に関する基礎的知識を身につけること、日本や諸外国の地理、文化、芸術など幅広い分野に興味を持つことが重要です。ツーリズム産業や地域振興、観光行政に関心を持ち、観光プロフェッショナルやビジネスパーソン、公務員として活躍したい方は、日本と世界の社会情勢に関心を持ち、政治・経済・地理・歴史等の科目を広く学びながら、部活動や委員会、スポーツ、ボランティア活動等を通して、人との関わりを大切に構築していくことが求められます。 これらの意欲や将来への目標を有しているかの判断は、資格取得状況、調査書、学力試験、面接等を通じて行います。

経済学部・総合政策学部 編入・転入選抜要項

1) 3年次編入、2年次・3年次転入 募集人員及び選抜日程

区分	募集人員		出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続期間
学部	経済	総合政策					
編入 転入	両学部とも若干名		令和8年1月7日(水) 1月30日(金)	令和8年 2月7日(土)	秋田	令和8年 2月20日(金)	令和8年2月24日(火) 3月10日(火)

経済学部経済学科：公務員コース、金融コース、経済データサイエンスコース、スポーツ経営コース

総合政策学部法律学科：公務員コース、ビジネスコース、法律コース、心理学コース

総合政策学部国際学科：国際関係・安全保障コース、グローバル英語コース、観光コース

※総合政策学部については、出願時に法律学科または国際学科のいずれかを選択しなければなりません。

2) 募集年次

- 編入－経済学部・総合政策学部とも3年次
- 転入－経済学部・総合政策学部とも2年次または3年次

3) 出願資格

本学のアドミッションポリシーを理解し、他者と協働しながら何事にもチャレンジする意欲がある方で、下記の【編入】または【転入】のいずれかの出願資格を満たす方

【編入】

※次の1～3のいずれかの出願資格を満たす方

1. 「学士」の学位を有する方、または令和8年3月31日までに「学士」の学位を取得見込みの方
2. 学校教育法による短期大学および高等専門学校を卒業した方、または令和8年3月31日までに卒業見込みの方
3. 学校教育法による専修学校の専門課程（修業年限が2年以上あり、かつ、総授業時間数が1,700時間以上又は卒業要件単位である62単位以上あるものに限る）を修了した方、または令和8年3月31日までに修了見込みの方

【転入】

※次の出願資格を満たす方

- 2年次－4年制大学に1年以上在学した方、または令和8年3月31日までに1年以上在学する見込みの方で、1年次の課程における相当の単位を修得した方、または令和8年3月31日までに修得見込みの方
- 3年次－4年制大学に2年以上在学した方、または令和8年3月31日までに2年以上在学する見込みの方で、2年次の課程における相当の単位を修得した方、または令和8年3月31日までに修得見込みの方

海外の教育機関を卒業した方、卒業見込みの方、在学中の方の出願条件

①編入希望の方

外国の大学、短期大学または高等専門学校を卒業した方、または令和8年3月31日までに卒業見込みの方で、卒業または卒業見込みの学校が以下のア)、イ)、ウ)の要件をすべて満たすこと。

②転入希望の方

外国の大学に在学中の方で、在籍している学校が以下のア)、イ)、ウ)の要件をすべて満たすこと。

ア) 外国の学校教育制度に位置付けられた教育機関であること。

イ) 外国の学校教育制度上の学位または称号を卒業者に授与する権限を有していること。

ウ) 外国において、制度上および社会的に大学、短期大学と認められるためには適格認定評価制による適格認定（アクレディテーション）が必要とされている場合には、当該適格認定を受けていること。

※外国籍を有する方は更に次の出願条件を満たす必要があります。

③入学前までに「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を取得できる方であること。

④日本語能力として、出願時に財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する「日本語能力試験(JLPT)」N2以上の認定を受けていること。ただし、日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した方、高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した方は、認定を証明する書類の提出は必要ありません。

⑤確実な連帯保証人がいること。連帯保証人は、日本国内に居住する独立した生計を営む成年者で、本人の学費や生活に関することなどを含む一切の責任を連帯して負うことのできる方であること。

4) 出願書類

- (1) 出願確認票（WEB出願）
- (2) 編入・転入選抜 入学志望理由書（所定用紙あり）
- (3) 出願資格を証明する書類

区分		必要書類
【編入】	4年制大学	卒業（見込）証明書、成績証明書
	短期大学	卒業（見込）証明書、成績証明書
	専修学校の専門課程	修了（見込）証明書、成績証明書
【転入】	4年制大学	在学証明書、成績証明書、在籍している大学長の承諾書

※出願書類は返還いたしません。

5) 選抜方法

出願書類の審査、科目試験、面接試験

○科目試験内容

経済学科－最近の経済問題などを題材に、経済学に関する基礎的な知識と考え方を問う問題（論述式）

法律学科－法律学の基礎的な知識または法的思考力を問う問題（論述式）

国際学科－国際分野に関する基礎知識と思考力を問う問題（論述式）

6) 選抜検定料

30,000円

7) 試験時間割

受 付	受験上の諸注意	科目試験	面 接 試 験
9時00分～9時20分	9時25分～9時35分	9時40分～10時40分	10時50分～

8) 試験会場

試験地	試 験 会 場	所在地および電話番号	備 考
秋 田	ノースアジア大学	秋田市下北手桜守沢46-1 ☎ 018-836-1330	J R秋田駅からバスで10分 ・東口：本学専用スクールバス乗り場（無料）

試験会場は13ページの試験会場案内図をご参照ください。

家族学費支援制度

入学予定者の家族が下記（卒業生・在学学生）に該当する場合、支援を行う制度です。

1. 対象【卒業生】

入学予定者の父母または兄弟姉妹が、ノースアジア大学、秋田看護福祉大学または秋田栄養短期大学（旧名称を含む）を卒業している場合は、入学金相当額から100,000円を免除します。

〈出願書類〉

受験する出願書類（※）に同封し下記の書類を提出してください。

- (1) 本学を卒業した父母または兄弟姉妹の本学卒業証明書
- (2) 戸籍謄本（原本）

※家族学費支援制度（卒業生）を希望する方は、出願書類提出の際、出願確認票の「家族学費支援制度希望欄」で『希望する』を選択してください。

※出願期間経過後の申し込みはできません。

2. 対象【在学学生】 こちらは入学者選抜合格後の手続きとなります。

ノースアジア大学、秋田看護福祉大学または秋田栄養短期大学に兄弟姉妹が同時に在籍する場合、下級の者の当該年度授業料の1／3相当額を給付します。なお、上級学生が卒業するまでの適用となります。

〈出願書類〉

入学者選抜合格後、入学手続書類とともに「家族学費支援制度申込書」を提出してください。

家族学費支援制度（卒業生・在学学生）は、他の支援制度との併用はできません。（詳細は下記表を参照）。

〈注意〉

○令和8年度選抜における奨学生・支援制度一覧（編入・転入）

No.	奨学生制度		制度種別 (奨学生・支援)	免除金額 (円)	免除項目	備 考	継続の有無
	奨学生制度名称	種 類					
①	学業奨学生制度	I 種	奨学生	668,000	授業料	授業料全額	年度毎審査
		II 種	奨学生	334,000	授業料	授業料 1/2	年度毎審査
②	留学奨学生制度 (総合政策学部のみ)	I 種奨学生	奨学生	668,000 留學年度の 授業料全額	授業料	奨励金（上限 40 万円）	年度毎審査
		II 種奨学生	奨学生	334,000 留學年度の 授業料半額	授業料	奨励金（上限 40 万円）を 給付する場合がある	年度毎審査
③	本学校法人が設置する 大学等に関する学納金 支援制度	家族学費支援（卒業生）	支 援	100,000	入学金	—	な し
④		家族学費支援（在学学生）	支 援	222,600	授業料	入学後の授業料 1/3 を給付	上級学生が卒業するまで

※奨学生・支援制度の重複適用はできません。

※学業奨学生制度は入学後の適用となります。

※留学奨学生制度は入学後の申し込みとなります。

出願手続

- ① 選抜検定料は、「Web出願システム」入力時に、次の3つから支払い方法を選択してもらう予定です。事前に支払方法を決めた上で、志願する選抜区分の出願期間内にお支払いください。

・クレジットカード決済 ・コンビニ決済 ・銀行振込（ペイジー）

※ 利用可能なクレジットカード、コンビニエンスストア等は、「Web出願について」をご参照ください。なお、出願時期によって、利用できる決済方法が限定的になる場合があります。変更や追加があった場合、都度本学ホームページ等でのお知らせや、「Web出願について」を更新しますのでご確認ください。

- ② 選抜検定料を振り込んだ後、出願書類をとりそろえ「一般書留速達郵便」で郵送してください。（原則として「出願期間」締切日必着）

※提出書類を送付するための角型2号封筒を、各自準備してください。

個人情報の取り扱いについて

出願者から提出された氏名、生年月日、住所、電話番号等個人に関する情報は、入学者選抜実施にあたり必要な業務でのみ使用し、他の目的で使用することはありません。また、提出された個人に関する情報は本学において厳重に管理いたします。

出願上の注意

入学者選抜への出願は、「Web出願システム」をご利用ください。詳細は、本要項と本学ホームページ掲載の『ノースアジア大学「WEB出願について」』を確認の上で進めてください。

- (1) 出願書類の不足、入力もれ、入力ミスには十分に注意してください。
- (2) 出願後の入力事項（志望学部、奨学生制度希望の有無など）の変更は認めません。
- (3) 出願書類の印刷はモノクロでも構いません。
- (4) 出願期間内に選抜検定料が振り込みされていても、出願書類が出願期間内に本学へ届かない場合は無効になり受験できなくなります（原則として、締切日必着）。出願書類は期限に余裕をもって提出してください。
- (5) 持参の場合は直接「教務部教務課」までご提出願います。受付時間は平日の午前8時30分から午後5時10分までです。土曜・日曜・祝日は受付できませんので、ご注意ください。
- (6) いったん受理した出願書類、選抜検定料はいかなる理由があっても返還致しませんのでご了承ください。
- (7) 身体に障害がある方で、受験を希望する場合は、教務部教務課（TEL 018-836-1330）へお問い合わせください。

受験票の交付

- (1) 受験票は出願書類を受理し、選抜検定料の振り込みが確認された時点で、発行許可をメールにて通知します。
- (2) 受験票（受験番号のないものは無効）は、ダウンロード・印刷の上で、試験当日必ずキリトリ線にて切ったものを携行してください。
- (3) 万一紛失または忘れた場合は必ず係員に申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- (4) 試験日間近になっても受験票の発行許可が出ない場合は、教務部教務課（TEL 018-836-1330）に問い合わせてください。

試験当日の諸注意

- (1) 試験会場（13ページ参照）
 - ① 下見のために試験会場内に入ることはできません。
 - ② 試験当日は受付を済ませてから入室し、自分の机上票が貼付されている場所に着席してください。
- (2) 遅刻、その他の事故
 - ① 試験当日は、交通機関の混雑を想定し、早めに到着するよう心掛けてください。
 - ② 試験開始時刻から20分までは受験を認めます。
 - ③ やむを得ない事由（交通機関の遅延など）による遅刻の場合は、特別の配慮を検討しますので、その旨を会場係員に申し出るか、会場到着前に教務部教務課（TEL 018-836-1330）まで連絡し担当者の指示に従ってください。
 - ④ 試験終了までは退室できません。ただし病気その他の事態が発生した場合は、係員に申し出て指示に従ってください。

合格発表

- (1) 合格発表当日の午前10時に、本学教務課前の掲示板にて合格者の受験番号を発表します。また「Web出願システム」でも行います。各自「Web出願システム」にログインして可否をご確認ください。
- (2) 選抜結果は可否ともに郵送で通知します。合格者には、「合格通知書」および「入学手続き類」を合格発表日に簡易書留郵便で本人宛てに郵送します。
- (3) 電話などによる可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続

入学手続は、合格通知の際に送付した「入学手続について」に従って行ってください。

- (1) 入学手続の際には、手続期間内に入学手続時納付金（12ページ参照）を一括納入し、入学手続書類を提出してください。

※ 締切期日を厳守してください（必着）。

- (2) 原則として納付金は最寄りの銀行から振り込みし、入学手続書類は本学所定の封筒を使い書留郵便で手続期間内に郵送してください。
- (3) 提出された書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 令和8年3月31日までに出席資格を満たさなかった場合、または退学処分に該当するような非違行為が発覚した場合は、合格を取り消します。
- (5) 外国籍の方は、「住民票」を提出してください。
- (6) 入学式、新入生研修会および新入生オリエンテーションでは、学生生活全般および教務関係に関する重要事項の連絡をしますので、必ず参加してください。
- (7) 本学では、学生専用のポータルサイトを設け、連絡事項や授業資料の配布など、原則として全てWeb上で行っています。よって、入学までに各自でノートパソコンを準備していただくことになります（本学が斡旋する業者からの購入、または各自で準備）。詳細につきましては入学手続後の郵送、もしくは入学手続書類に同封し、お知らせいたします。

入学前教育

入学手続が済んだ合格者へは、本学からの入学前教育を実施する予定です。

入学辞退

入学手続完了後に入学を辞退する場合は、教務部教務課へご連絡のうえ、必ず「入学辞退願（※様式自由）」を下記期日までに書留郵便で郵送してください。その際、受験番号、氏名（必ず本人・連帯保証人が押印してください）、高校名、辞退理由、指定口座（銀行・名義人名・フリガナ含む）を明記してください。入学手続完了後、原則として令和8年3月23日（月）までに入学辞退の申し出をし受理された場合には、入学金を除く学納金を所定口座へ返金いたします。なお、急な事由に伴いやむを得ず入学辞退を希望される場合に限り、令和8年3月27日（金）まで受け付けいたします。詳細につきましては、下記連絡先までお問い合わせください。

申し出期限（必着） 令和8年3月23日（月）

《書類の送付先》

〒010-8515
秋田市下北手桜守沢46-1
ノースアジア大学 教務部教務課
☎018-836-1330

入学年度納付金一覧（令和８年度）

経済学部、総合政策学部（年額２期分納）

納 期 種 別		①入学手続時 前期（４月）	②後期 （９月）	合 計
学 費	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	334,000	334,000	668,000
	施 設 費	225,000	0	225,000
	教育資料 等 諸 費	63,000	0	63,000
その他	課外活動 諸 費	24,500	0	24,500
合 計		846,500	334,000	1,180,500

【ご注意ください】

※入学手続時は、入学金の他に、前期分の学納金（授業料、施設費、教育資料等諸費、課外活動諸費）も併せて納入しなければなりません。

※納付金が在学中に変更となった際は、在学生は変更後の納付金額を納めていただくことになります。また、納付時期・納付回数が増える場合があります。

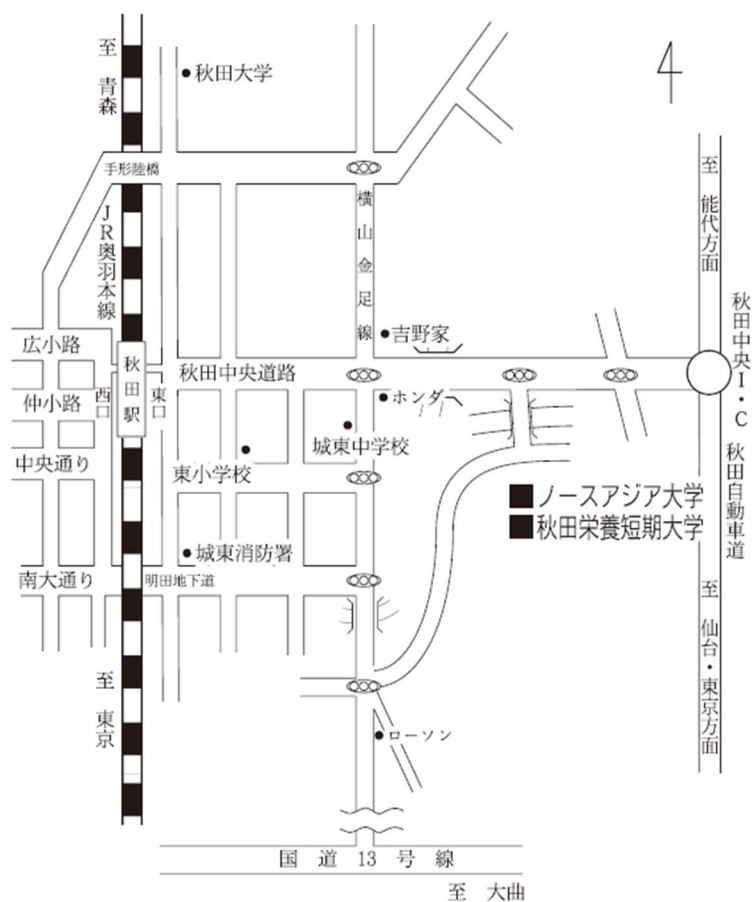
減免の場合：家族学費支援【卒業生】

納 期 種 別		①入学手続時 前期（４月）	②後期 （９月）	合 計
学 費	入 学 金	100,000	0	100,000
	授 業 料	334,000	334,000	668,000
	施 設 費	225,000	0	225,000
	教育資料 等 諸 費	63,000	0	63,000
その他	課外活動 諸 費	24,500	0	24,500
合 計		746,500	334,000	1,080,500

試験会場案内図

秋田試験会場

◎ノースアジア大学
秋田市下北手桜守沢46-1
TEL 018-836-1330



ノースアジア大学

〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1

☎018-836-1330 教務部教務課

E-mail : kyomu@nau.ac.jp